

パブリックコメントの結果について

【意見募集の概要】

案件名	飛騨御嶽高原高地トレーニングエリア構想の策定に伴う高山市企業立地支援制度の拡充について
募集期間	平成30年1月25日(木)～平成30年2月7日(水)(14日間)
担当部・課	商工観光部 商工課

【集計結果】

意見提出人数	2人(個人1、団体1)
意見数	6件

【意見の検討結果】

項目	
① 修正します	意見に基づき、原案を修正するもの
② 意見として承ります	原案は修正しないが、今後の取組の参考とするもの
③ 原案のとおりとします	検討した結果、修正しないもの
④ その他	原案に関する意見でないもの(感想や質問)に回答するもの

【意見及び検討結果等の一覧】

No.	項目	意見	検討結果及びその理由	
1	個別課題への取組について	個別課題への取組として、支援制度の拡充と現行制度の見直しを高地トレーニングエリアに適用することは望ましい。	④その他	期待に添えるよう、事業を進めさせていただきます。
2	高地トレーニングエリアだけにとどまる支援制度のあり方について	高地トレーニングエリアだけにとどまる支援制度のあり方について、市内における取組への支援として十分であるか検証してほしい。特に新エネルギー供給業の低圧接続による複数の発電施設等を長期間かけ整備した際の、高山市企業立地支援制度の取り扱いについて、高地トレーニングエリアにて拡充等される内容に準じた、制度変更に踏み込むべき。	②意見として承ります	新エネルギー供給業については、当市の豊かな自然を活用し、地域内のエネルギー自給率を高めることなどを目的に、平成28年4月に高山市企業立地支援制度の対象となるよう業種指定をさせていただきました。情勢の変化などにより、高圧接続が難しく、やむを得ず低圧接続にせざるを得ないなどの現状は把握しておりますが、雇用者数の要件など条件を満たせばご活用いただけますので、現行の制度内容でご理解願います。
3	宿泊ニーズの調査について	高地トレーニングエリアの利用者が増え、繁忙期の限られた時期には宿泊を断ることもあるが、それ以外の時期については、空室を少しでも埋めるのに四苦八苦している状況である。そのような中、支援制度の拡充により宿泊施設が増加すると、一施設あたりの利用者が減少し、事業を継続できなくなる心配があるため、高地トレーニングエリアの宿泊ニーズの調査をお願いしたい。	④その他	宿泊ニーズの調査については、合宿誘致の取り組みを行う中で、岐阜県、高山市、下呂市、民間団体で構成する飛騨御嶽高原ナショナル高地トレーニングエリア推進協議会において、構成団体の意見を踏まえ検討します。
4	「安定した持続可能な施設運営」に向けての施策の充実について	高地トレーニング利用者の需要に応えるため、既存の宿泊施設事業者が持続可能な運営ができるような施策(老朽化した部屋の改装などへの補助など)を増やしてほしい。	②意見として承ります	高山市企業立地支援制度においても、増設を伴う改修などは、一定の要件を満たしていただければ支援の対象となりますので、ご活用ください。

No.	項目	意見	検討結果及びその理由	
5	エリアの魅力付けになるような投資の促進について	高地トレーニングエリアの魅力が乏しいため、エリアの魅力づけにつながるような、温泉の掘削や宿泊施設への温泉供給など、既存の宿泊施設事業者が継続可能な運営ができるような投資を進めてほしい。	④その他	高地トレーニングエリアの魅力向上に向け、地域の皆さんや関係団体と共に取り組めます。
6	オールシーズン営業できる魅力づくりについて	高地トレーニングの時期だけの利用では事業の継続は困難であるため、通年で安定した利用が見込めるような魅力づくりに投資をお願いしたい。	④その他	高地トレーニングエリアの通年利用の促進について、地域の皆さんや関係団体と共に取り組めます。